

# 浅口商工会管内業況(DI)調査

## 令和4年10～12月調査分

調査期間 令和4年10月～12月  
調査方法 経営指導員による訪問調査

調査対象企業 浅口商工会管内の小規模事業者25事業所

(内訳)

鴨方	金光	寄島	里庄	
12	4	3	6	25
48.0%	16.0%	12.0%	24.0%	100.0%

### 調査結果の概要

#### <全体 ～仕入単価DIが大幅悪化に伴い、収益状況DIに悪影響～>

- ・売上高は若干のマイナス水準であり、見通しも同様。
- ・売上単価は上昇出来ている先も多く見られるが、仕入単価の上昇は全体的で見通しも厳しい。
- ・在庫は若干のマイナス水準。
- ・資金繰りは極めて厳しい状況。見通しも大きく改善せず。
- ・借入難度は若干厳しい状況。見通しは回復基調。
- ・収益状況は極めて厳しい状況。見通しも同様。
- ・設備投資の不足感は20.0ポイント。
- ・雇用人員の不足感は16.0ポイント。

#### <業種別業況>

- ・売上高は特に卸小売業で大幅低下。
- ・売上単価は特に建設業で価格転嫁が進んでいない状況。
- ・仕入単価は全業種で上昇。特に飲食・宿泊業、サービス業で顕著。
- ・在庫は特に製造業で減少。
- ・資金繰りは特に飲食・宿泊業で厳しい状況。
- ・借入難度は特に飲食・宿泊業で厳しい状況。
- ・収益状況は全業種で悪化。
- ・設備投資は全業種で適正が高い。
- ・雇用人員は全業種で適正が高い。

#### <売上状況>

- ・月商1,000千円以上3,000千円未満の会社の割合が増加傾向。
- ・7月～9月にかけて、500千円未満の会社が減少傾向。

#### <業況推移>

- ・前回調査より全体的に回復傾向。ただし、仕入単価や資金繰りは依然として厳しい。

#### <経営課題と取り組み>

##### ●経営上の問題

一位の最多は「仕入価格の上昇」。

回答総数では、最も多いのは「仕入価格の上昇」、次いで「燃料費・物流費などの経費の増加」。

##### ●経営改善対策

一位の最多は「販売単価の引上げ」、「経費の削減」。

回答総数では、最も多いのは「販売単価の引上げ」、次いで「経費の削減」。

## <目次>

【令和4年第四四半期分】

1. 業況調査(DI)集計(全体)	1ページ
2. 業種別業況調査(DI)集計	10ページ
3. 売上(月商)状況集計	15ページ
4. 経営上の問題	16ページ
5. 経営改善対策	17ページ
6. 業況調査(DI)時系列集計	18ページ
7. 自由回答	21ページ

# 1. 業況調査 (DI) 集計 (全体)

【令和4年第四四半期分】

浅口商工会

鴨方	金光	寄島	里庄	
12	4	3	6	25
48.0%	16.0%	12.0%	24.0%	100.0%

1.製造業	2.建設業	3.卸小売業	4.飲食・宿泊業	5.サービス業	
5	5	5	5	5	25
20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%

【売上高(完成工事高・加工高等)今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

売上高は不変・減少の回答が最も多くなっています。  
 売上高が上昇と回答した割合は32.0%でした。  
 業況判断DIはマイナス8.0ポイントと引き続き厳しい状況にあります。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
3	5	6	4	6	1	25
12.0%	20.0%	24.0%	16.0%	24.0%	4.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
32.0	24.0	40.0	▲ 8.0

【売上高(完成工事高・加工高等)来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。  
 売上高が上昇すると見込む割合は20.0%です。  
 業況判断DIはマイナス20.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
1	4	8	5	5	2	25
4.0%	16.0%	32.0%	20.0%	20.0%	8.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
20.0	32.0	40.0	▲ 20.0

**【売上単価(加工・受注単価等)今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

売上単価は不変の回答が最も多くなっています。  
 売上単価が上昇と回答した割合は32.0%でした。  
 業況判断DIは12.0ポイントと回復基調にあります。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
2	6	12	4	1	0	25
8.0%	24.0%	48.0%	16.0%	4.0%	0.0%	100.0%
上昇		不変	低下		上昇－低下	
32.0		48.0	20.0		12.0	

**【売上単価(加工・受注単価等)来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。  
 売上単価が上昇すると見込む割合は16.0%です。  
 業況判断DIはマイナス8.0ポイントと引き続き厳しい状況が見込まれています。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
1	3	15	4	2	0	25
4.0%	12.0%	60.0%	16.0%	8.0%	0.0%	100.0%
上昇		不変	低下		上昇－低下	
16.0		60.0	24.0		▲ 8.0	

**【仕入単価(原材料・製品等)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

仕入単価は上昇・やや上昇の回答が最も多くなっています。  
 仕入単価が低下と回答した割合は0%でした。  
 業況判断DIはマイナス72.0ポイントと極めて厳しい状況にあります。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
9	9	7	0	0	0	25
36.0%	36.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
低下		不変	上昇		低下ー上昇	
0.0		28.0	72.0		▲ 72.0	

**【仕入単価(原材料・製品等)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しはやや上昇の回答が最も多くなっています。  
 仕入単価が低下すると見込む割合は0%です  
 業況判断DIはマイナス64.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	未回答	
7	9	8	0	0	1	25
28.0%	36.0%	32.0%	0.0%	0.0%	4.0%	100.0%
低下		不変	上昇		低下ー上昇	
0.0		32.0	64.0		▲ 64.0	

**【在庫(商品・製品等)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

在庫は不変の回答が最も多くなっています。  
 在庫が増加と回答した割合は12.0%でした。  
 業況判断DIはマイナス4.0ポイントと引き続き厳しい状況にあります。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
0	3	18	3	1	0	25
0.0%	12.0%	72.0%	12.0%	4.0%	0.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
12.0	72.0	16.0	▲ 4.0

**【在庫(商品・製品等)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。  
 在庫が増加すると見込む割合は12.0%です  
 業況判断DIはマイナス16.0ポイントと引き続き厳しい状況が見込まれています。

1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	未回答	
0	3	15	6	1	0	25
0.0%	12.0%	60.0%	24.0%	4.0%	0.0%	100.0%

増加	不変	減少	増加－減少
12.0	60.0	28.0	▲ 16.0

**【資金繰り】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

資金繰りは不変の回答が最も多くなっています。  
 資金繰りが好転と回答した割合は0.0%でした。  
 業況判断DIはマイナス32.0ポイントと極めて厳しい状況にあります。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	0	17	5	3	0	25
0.0%	0.0%	68.0%	20.0%	12.0%	0.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
0.0	68.0	32.0	▲ 32.0

**【資金繰り】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。  
 資金繰りが好転と見込む割合は0.0%です  
 業況判断DIはマイナス28.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	0	18	6	1	0	25
0.0%	0.0%	72.0%	24.0%	4.0%	0.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
0.0	72.0	28.0	▲ 28.0

**【借入難度(含む手形割引)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

借入難度は不変の回答が最も多くなっています。  
 借入が容易と回答した割合は0.0%です  
 業況判断DIはマイナス4.0ポイントと引き続き厳しい状況にあります。

1.容易	2.やや容易	3.不変	4.やや困難	5.困難	未回答	
0	0	24	0	1	0	25
0.0%	0.0%	96.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
容易		不変	困難		容易－困難	
0.0		96.0	4.0		▲ 4.0	

**【借入難度(含む手形割引)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しは不変の回答が最も多くなっています。  
 借入が容易と見込む割合は8.0%です  
 業況判断DIは8.0ポイントと回復基調が見込まれています。

1.容易	2.やや容易	3.不変	4.やや困難	5.困難	未回答	
0	2	23	0	0	0	25
0.0%	8.0%	92.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
容易		不変	困難		容易－困難	
8.0		92.0	0.0		8.0	



**【収益状況（経常利益）】今期（R4年10月～12月）の状況：前年同期（R3年10月～12月と比べて）**

収益状況はやや悪化の回答が最も多くなっています。  
 収益状況が好転と回答した割合は12.0%です  
 業況判断DIはマイナス44.0ポイントと極めて厳しい状況が続いています。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	3	7	10	4	1	25
0.0%	12.0%	28.0%	40.0%	16.0%	4.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
12.0	28.0	56.0	▲ 44.0

**【収益状況（経常利益）】来期（R5年1月～3月）の見通し：前年同期（R4年1月～3月と比べて）**

今後の見通しはやや悪化の回答が最も多くなっています。  
 収益状況が好転と見込む割合は8.0%です  
 業況判断DIはマイナス44.0ポイントと極めて厳しい状況が見込まれています。

1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	未回答	
0	2	9	11	2	1	25
0.0%	8.0%	36.0%	44.0%	8.0%	4.0%	100.0%

好転	不変	悪化	好転－悪化
8.0	36.0	52.0	▲ 44.0

**【設備投資】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

設備投資は適正の回答が最も多くなっています。  
 設備投資が過剰と回答した割合は8.0%です  
 業況判断DIは60.0ポイントと高水準にあります。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	0	20	5	0	0	25
0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
0.0	80.0	20.0	60.0

**【設備投資】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しは適正の回答が最も多くなっています。  
 設備投資が過剰と見込む割合は4.0%です  
 業況判断DIは60.0ポイントと高水準が見込まれています。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	1	20	4	0	0	25
0.0%	4.0%	80.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
4.0	80.0	16.0	60.0

**【雇用人員(人手)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

雇用人員は適正の回答が最も多くなっています。  
 雇用人員が過剰と見込む割合は0.0%です  
 業況判断DIは68.0ポイントと高水準にあります。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	0	21	2	2	0	25
0.0%	0.0%	84.0%	8.0%	8.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
0.0	84.0	16.0	68.0

**【雇用人員(人手)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

今後の見通しは適正の回答が最も多くなっています。  
 雇用人員が過剰と見込む割合は0.0%です  
 業況判断DIは60.0と高水準が見込まれています。

1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	未回答	
0	0	20	3	2	0	25
0.0%	0.0%	80.0%	12.0%	8.0%	0.0%	100.0%

過剰	適正	不足	適正－過不足
0.0	80.0	20.0	60.0

## 2. 業種別業況調査 (DI) 集計

【令和4年第四四半期分】

浅口商工会

【売上高(完成工事高・加工高等)今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	増加	不変	減少	増加－減少
製造業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0
建設業	20.0	80.0	0.0	20.0
卸・小売業	25.0	0.0	75.0	▲ 50.0
飲食・宿泊業	60.0	0.0	40.0	20.0
サービス業	40.0	20.0	40.0	0.0

【売上高(完成工事高・加工高等)来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	上昇	不変	低下	上昇－低下
製造業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0
建設業	40.0	60.0	0.0	40.0
卸・小売業	0.0	25.0	75.0	▲ 75.0
飲食・宿泊業	25.0	50.0	25.0	0.0
サービス業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0

【売上単価(加工・受注単価等)今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	上昇	不変	低下	上昇－低下
製造業	40.0	60.0	0.0	40.0
建設業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
卸・小売業	40.0	20.0	40.0	0.0
飲食・宿泊業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	60.0	0.0	40.0	20.0

【売上単価(加工・受注単価等)来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	上昇	不変	低下	上昇－低下
製造業	20.0	80.0	0.0	20.0
建設業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
卸・小売業	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0
飲食・宿泊業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0

【仕入単価(原材料・製品等)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	低下	不変	上昇	低下ー上昇
製造業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
建設業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
卸・小売業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
飲食・宿泊業	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0
サービス業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0

【仕入単価(原材料・製品等)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	低下	不変	上昇	低下ー上昇
製造業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
建設業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
卸・小売業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
飲食・宿泊業	0.0	25.0	75.0	▲ 75.0
サービス業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0

【在庫(商品・製品等)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	増加	不変	減少	増加ー減少
製造業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	40.0	40.0	20.0	20.0
飲食・宿泊業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【在庫(商品・製品等)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	増加	不変	減少	増加ー減少
製造業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	40.0	20.0	40.0	0.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
サービス業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0

【資金繰り】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
飲食・宿泊業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【資金繰り】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

【借入難度(含む手形割引)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	容易	不変	困難	容易－困難
製造業	0.0	100.0	0.0	0.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	0.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
サービス業	0.0	100.0	0.0	0.0

【借入難度(含む手形割引)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	容易	不変	困難	容易－困難
製造業	0.0	100.0	0.0	0.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	0.0
飲食・宿泊業	40.0	60.0	0.0	40.0
サービス業	0.0	100.0	0.0	0.0

【収益状況(経常利益)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	25.0	0.0	75.0	▲ 50.0
建設業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
卸・小売業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
飲食・宿泊業	20.0	0.0	80.0	▲ 60.0
サービス業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0

【収益状況(経常利益)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	好転	不変	悪化	好転－悪化
製造業	25.0	0.0	75.0	▲ 50.0
建設業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
卸・小売業	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
飲食・宿泊業	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
サービス業	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0

【設備投資】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)

	過剰	適正	不足	適正－過不足
製造業	0.0	100.0	0.0	100.0
建設業	0.0	100.0	0.0	100.0
卸・小売業	0.0	80.0	20.0	60.0
飲食・宿泊業	0.0	60.0	40.0	20.0
サービス業	0.0	60.0	40.0	20.0

【設備投資】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)

	過剰	適正	不足	適正－過不足
製造業	20.0	80.0	0.0	60.0
建設業	0.0	100.0	0.0	100.0
卸・小売業	0.0	80.0	20.0	60.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	60.0
サービス業	0.0	60.0	40.0	20.0

**【雇用人員(人手)】今期(R4年10月～12月)の状況:前年同期(R3年10月～12月と比べて)**

	過剰	適正	不足	適正一過不足
製造業	0.0	80.0	20.0	60.0
建設業	0.0	60.0	40.0	20.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	100.0
飲食・宿泊業	0.0	100.0	0.0	100.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	60.0

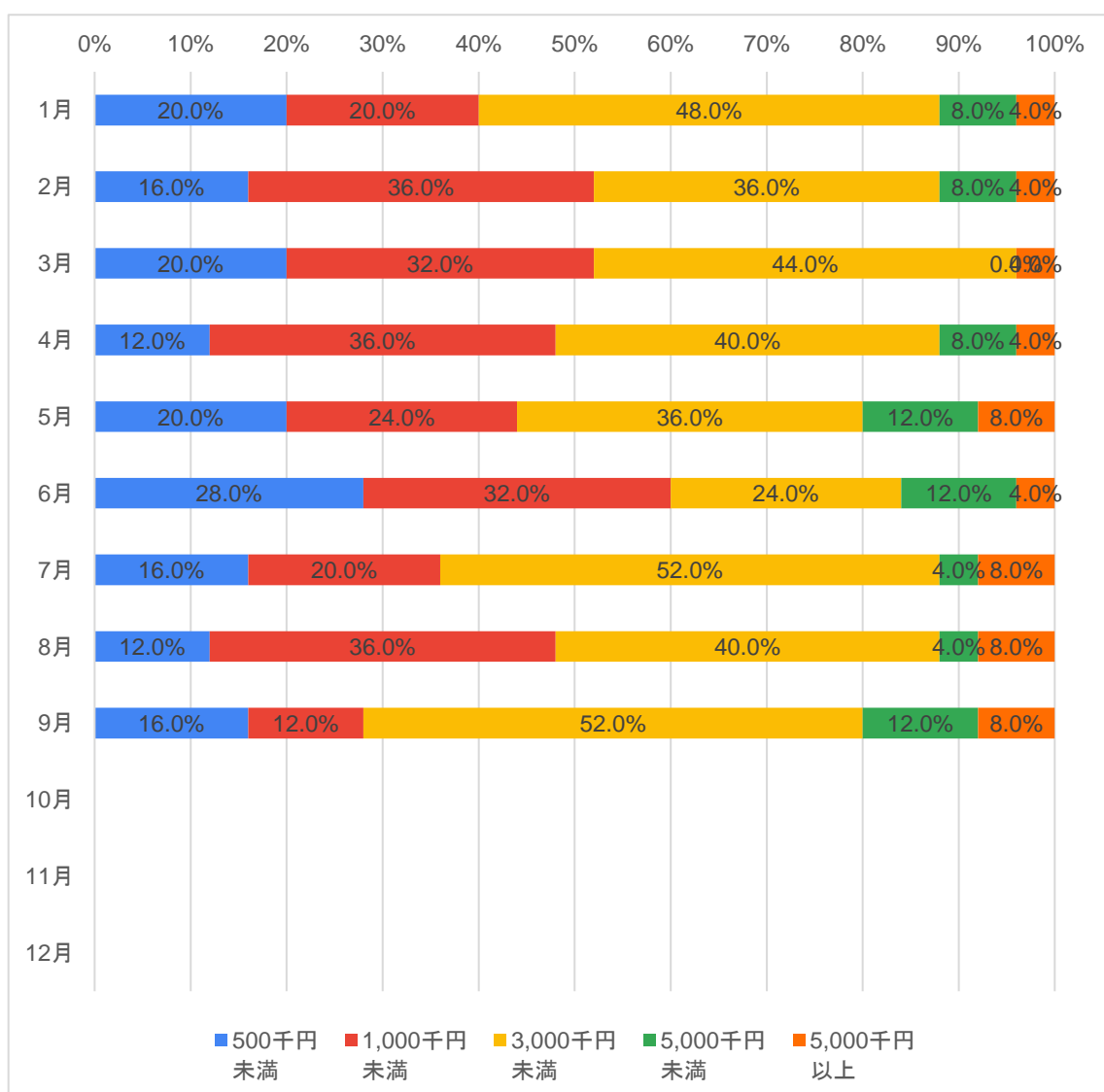
**【雇用人員(人手)】来期(R5年1月～3月)の見通し:前年同期(R4年1月～3月と比べて)**

	過剰	適正	不足	適正一過不足
製造業	0.0	80.0	20.0	60.0
建設業	0.0	60.0	40.0	20.0
卸・小売業	0.0	100.0	0.0	100.0
飲食・宿泊業	0.0	80.0	20.0	60.0
サービス業	0.0	80.0	20.0	60.0



### 3. 売上（月商）状況集計

		500千円 未満	1,000千円 未満	3,000千円 未満	5,000千円 未満	5,000千円 以上	計
令和4年	1月	20.0%	20.0%	48.0%	8.0%	4.0%	100.0%
	2月	16.0%	36.0%	36.0%	8.0%	4.0%	100.0%
	3月	20.0%	32.0%	44.0%	0.0%	4.0%	100.0%
	4月	12.0%	36.0%	40.0%	8.0%	4.0%	100.0%
	5月	20.0%	24.0%	36.0%	12.0%	8.0%	100.0%
	6月	28.0%	32.0%	24.0%	12.0%	4.0%	100.0%
	7月	16.0%	20.0%	52.0%	4.0%	8.0%	100.0%
	8月	12.0%	36.0%	40.0%	4.0%	8.0%	100.0%
	9月	16.0%	12.0%	52.0%	12.0%	8.0%	100.0%
	10月						
	11月						
	12月						



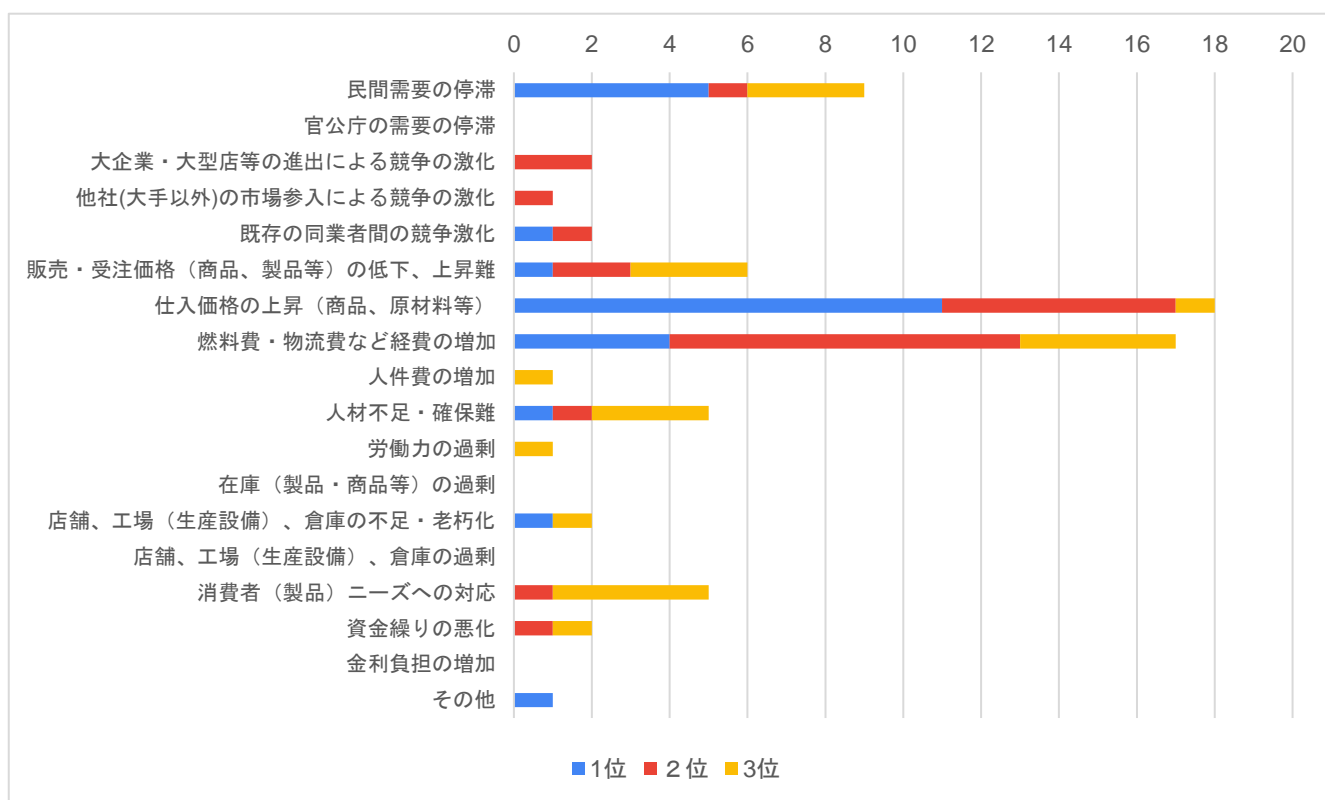
## 4. 経営上の問題

### <質問3>

一位の最多は「仕入価格の上昇」。

回答総数では、最も多いのは「仕入価格の上昇」、次いで「燃料費・物流費などの経費の増加」。

		1位	2位	3位	計
1	民間需要の停滞	5	1	3	9
2	官公庁の需要の停滞	0	0	0	0
3	大企業・大型店等の進出による競争の激化	0	2	0	2
4	他社(大手以外)の市場参入による競争の激化	0	1	0	1
5	既存の同業者間の競争激化	1	1	0	2
6	販売・受注価格(商品、製品等)の低下、上昇難	1	2	3	6
7	仕入価格の上昇(商品、原材料等)	11	6	1	18
8	燃料費・物流費など経費の増加	4	9	4	17
9	人件費の増加	0	0	1	1
10	人材不足・確保難	1	1	3	5
11	労働力の過剰	0	0	1	1
12	在庫(製品・商品等)の過剰	0	0	0	0
13	店舗、工場(生産設備)、倉庫の不足・老朽化	1	0	1	2
14	店舗、工場(生産設備)、倉庫の過剰	0	0	0	0
15	消費者(製品)ニーズへの対応	0	1	4	5
16	資金繰りの悪化	0	1	1	2
17	金利負担の増加	0	0	0	0
18	その他	1	0	0	1



### <その他の回答>

インボイス制度に関する実務

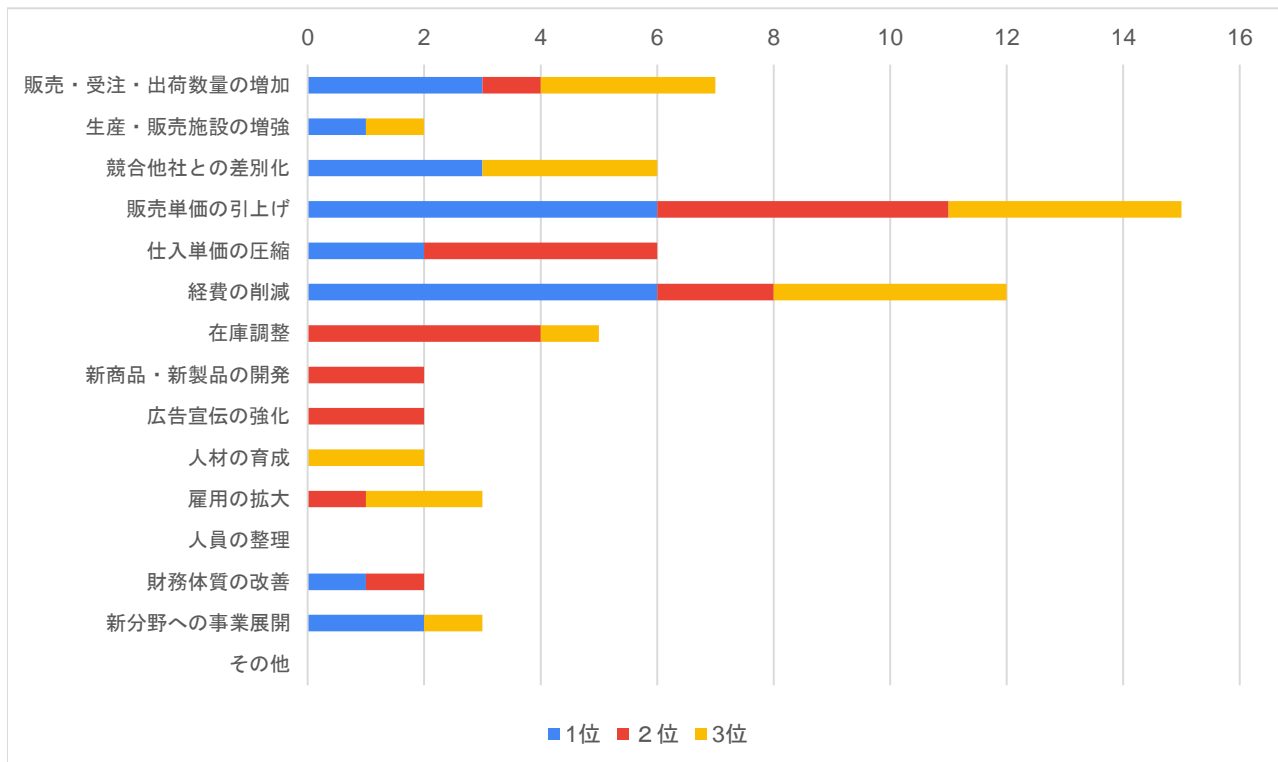
## 5. 経営改善対策

### <質問4>

一位の最多は「販売単価の引上げ」、「経費の削減」。

回答総数では、最も多いのは「販売単価の引上げ」、次いで「経費の削減」。

	1位	2位	3位	計
1 販売・受注・出荷数量の増加	3	1	3	7
2 生産・販売施設の増強	1	0	1	2
3 競合他社との差別化	3	0	3	6
4 販売単価の引上げ	6	5	4	15
5 仕入単価の圧縮	2	4	0	6
6 経費の削減	6	2	4	12
7 在庫調整	0	4	1	5
8 新商品・新製品の開発	0	2	0	2
9 広告宣伝の強化	0	2	0	2
10 人材の育成	0	0	2	2
11 雇用の拡大	0	1	2	3
12 人員の整理	0	0	0	0
13 財務体質の改善	1	1	0	2
14 新分野への事業展開	2	0	1	3
15 その他	0	0	0	0



<その他の回答>

## 6. 業況調査（DI）時系列集計

浅口商工会

		令和4年4～6月	令和4年7～9月	令和4年10～12月	令和5年1～3月
売上高	全体	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 8.0	
	製造業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	
	建設業	0.0	▲ 60.0	20.0	
	卸・小売業	▲ 60.0	0.0	▲ 50.0	
	飲食・宿泊業	20.0	0.0	20.0	
	サービス業	20.0	▲ 40.0	0.0	
売上高見通し	全体	▲ 32.0	▲ 44.0	▲ 20.0	
	製造業	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	
	建設業	▲ 40.0	▲ 80.0	40.0	
	卸・小売業	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 75.0	
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	
	サービス業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 40.0	
売上単価	全体	8.0	28.0	12.0	
	製造業	40.0	60.0	40.0	
	建設業	20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	
	卸・小売業	0.0	40.0	0.0	
	飲食・宿泊業	▲ 40.0	20.0	20.0	
	サービス業	20.0	40.0	20.0	
売上単価見通し	全体	12.0	16.0	▲ 8.0	
	製造業	20.0	60.0	20.0	
	建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	
	卸・小売業	60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	0.0	20.0	
	サービス業	20.0	80.0	▲ 20.0	
仕入単価	全体	▲ 76.0	▲ 88.0	▲ 72.0	
	製造業	▲ 80.0	▲ 80.0	▲ 60.0	
	建設業	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 40.0	
	卸・小売業	▲ 80.0	▲ 80.0	▲ 80.0	
	飲食・宿泊業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	
	サービス業	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 80.0	
仕入単価見通し	全体	▲ 64.0	▲ 76.0	▲ 64.0	
	製造業	▲ 40.0	▲ 80.0	▲ 80.0	
	建設業	▲ 60.0	▲ 75.0	▲ 40.0	
	卸・小売業	▲ 80.0	▲ 60.0	▲ 80.0	
	飲食・宿泊業	▲ 80.0	▲ 100.0	▲ 75.0	
	サービス業	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 60.0	
在庫	全体	4.0	4.0	▲ 4.0	
	製造業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0	
	建設業	0.0	0.0	0.0	
	卸・小売業	0.0	▲ 20.0	20.0	
	飲食・宿泊業	40.0	40.0	20.0	
	サービス業	20.0	20.0	▲ 20.0	
在庫見通し	全体	0.0	0.0	▲ 16.0	
	製造業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0	
	建設業	0.0	20.0	0.0	
	卸・小売業	0.0	▲ 40.0	0.0	
	飲食・宿泊業	40.0	20.0	▲ 20.0	
	サービス業	0.0	20.0	▲ 20.0	

		令和4年4～6月	令和4年7～9月	令和4年7～9月	令和4年10～12月
資金繰り	全体	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 32.0	
	製造業	0.0	▲ 20.0	▲ 40.0	
	建設業	0.0	0.0	0.0	
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	
	飲食・宿泊業	▲ 80.0	▲ 80.0	▲ 80.0	
	サービス業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	
資金繰り見通し	全体	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 28.0	
	製造業	0.0	0.0	▲ 40.0	
	建設業	0.0	0.0	0.0	
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 60.0	
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 20.0	
	サービス業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	
借入難度	全体	4.0	▲ 8.0	▲ 4.0	
	製造業	0.0	0.0	0.0	
	建設業	20.0	0.0	0.0	
	卸・小売業	20.0	20.0	0.0	
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	
	サービス業	0.0	▲ 20.0	0.0	
借入難度見通し	全体	▲ 4.0	▲ 8.0	8.0	
	製造業	0.0	0.0	0.0	
	建設業	20.0	0.0	0.0	
	卸・小売業	0.0	20.0	0.0	
	飲食・宿泊業	▲ 40.0	▲ 40.0	40.0	
	サービス業	0.0	▲ 20.0	0.0	
収益状況	全体	▲ 32.0	▲ 48.0	▲ 44.0	
	製造業	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	
	建設業	▲ 40.0	▲ 80.0	▲ 40.0	
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 60.0	
	飲食・宿泊業	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 60.0	
	サービス業	0.0	▲ 60.0	▲ 20.0	
収益状況見通し	全体	▲ 32.0	▲ 60.0	▲ 44.0	
	製造業	0.0	▲ 40.0	▲ 50.0	
	建設業	▲ 40.0	▲ 80.0	▲ 40.0	
	卸・小売業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 80.0	
	飲食・宿泊業	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 20.0	
	サービス業	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 40.0	
設備投資(過不足)	全体	44.0	52.0	60.0	
	製造業	20.0	100.0	100.0	
	建設業	60.0	100.0	100.0	
	卸・小売業	100.0	20.0	60.0	
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	60.0	20.0	
	サービス業	60.0	▲ 20.0	20.0	
設備投資見通し(過不足)	全体	52.0	76.0	60.0	
	製造業	20.0	100.0	60.0	
	建設業	60.0	100.0	100.0	
	卸・小売業	100.0	100.0	60.0	
	飲食・宿泊業	20.0	60.0	60.0	
	サービス業	60.0	20.0	20.0	

		令和4年4～6月	令和4年7～9月	令和4年7～9月	令和4年10～12月
雇用人員(過不足)	全体	36.0	44.0	68.0	
	製造業	20.0	▲ 20.0	60.0	
	建設業	20.0	20.0	20.0	
	卸・小売業	100.0	100.0	100.0	
	飲食・宿泊業	▲ 20.0	20.0	100.0	
	サービス業	60.0	100.0	60.0	
雇用人員見通し(過不足)	全体	52.0	44.0	60.0	
	製造業	20.0	▲ 20.0	60.0	
	建設業	20.0	20.0	20.0	
	卸・小売業	100.0	100.0	100.0	
	飲食・宿泊業	60.0	20.0	60.0	
	サービス業	60.0	100.0	60.0	

## 7. 自由回答

<質問5>その他(貴社又は業界の景気動向、財政・金融政策に対する要望など)

売上の減少、設備の老朽化と厳しい状況が続いている。
仕入値について、小麦・油は注文する毎に値段が上がっている。
売価引き上げで対応する予定だが、利益確保は厳しい状況が続いている。
特になし。
建設資材価格、燃料費の高騰により、収益状況は良いものではない。
コロナによる借入金返済もそろそろ始まり、ペアは難しい。
ありません。
コロナが5類になって人の動きも活発になることを期待しています。
いろいろな補助金について教えてほしいです。
電気代の値上げが激しい。政府・行政による支援策があればよいと思う。
飲食店はどこも同じだと思うが、コロナ前の売上に戻るのは難しいと感じている。
店舗での飲食提供以外の方法を考えていけないといけない。引き続き支援してほしい。
仕入値の上昇がひどい(3割増くらい)。値上げも考えているが、客離れが不安でなかなか実行できていない。
同業者の技術料の値上げの話があり、どうしていくか検討中。
(仕入価格、電気代の高騰、客単価の減少)
油脂関係の値上げが続いていて、売価も値上げした。インボイスの実務について不安がある。
勉強会などあれば参加したい。
すべてのものが値上がり、特に電気灯油が上がりすぎて節約するのも限界がある。
町からの燃料調整もありましたが、手続きが面倒。金額も少ない。